



かたらして

アーチ通信 第6号
平成30年9月発行

「かたらして」は三島の方言で「なかまにいられて」という意味です。

三島市障がいと暮らしを支える協議会は、市内関係団体・当事者・事業者の顔の見える“つながり”作りを大切に、愛称：アーチのとおり、架け橋になることが目標です！！



いいものみつけた！！（皆さんのこえ）

サポートハートマーク

見えない疾患・障害 啓発プロジェクトさんが作成された「サポートハートマーク」逆ヘルプマークとも言われています。障がいのある人や困っている人を助けてあげたい！と思っていても、なかなか声をかける勇気が出ない方も多いのではないのでしょうか？このマークをつけることで、ヘルプしたい人とヘルプして欲しい人の心の声をつなげることができます。マークは、サイトからダウンロードもできます。（Aさん）



甘味茶屋 水月 さんの 金時おこわセット



水月さんは、中央町にあります。甘味茶屋さんということで、あんみつや、どら焼きなども美味しいですが、私のおすすめは、何と言っても金時おこわセット（なんとワンコイン500円）です。おこわはもちろんですが、煮物やお味噌汁も、家庭の味が身体に優しいです。おこわは、お持ち帰り用もありますよ～。（Hさん）

田中亭さんのステーキセット

柳郷地にある、田中亭さん。ステーキセットがオススメです！お肉たっぷり！これだけ付いて、なんと900円！コスパ三島No.1間違いなし！人気があり、お肉にも限りがあるので、30分前には行って並んだ方が良いでしょう。席はカウンター席とお座敷です。（Kさん）



手芸クラブ「ちくちく」を紹介します！



手芸をやってみたい人、手芸の好きな人の集まりです。「作ってみたい！」という気持ちがある方なら、男の人でも女の人でも、どなたでも大歓迎です。いっしょにすてきな小物を作りましょう。

代表・講師 近藤 静恵さん



☆作る物：1回、2時間で完成する季節のタペストリーや、生活に便利なポーチやペットボトルカバーなど。近藤先生オリジナルの手作りキットを毎回先生が準備してくれます。自分の好きな色を選べます。
☆持ち物：裁縫道具 ない人には先生が貸してくれます。



【活動日】 毎月1回土曜日
【時間】 9：30～11：30
【会場】 三島市民活動センター会議室（本町タワー4階）
【費用】 参加費 300円
材料費 300円
【問い合わせ】
090-7957-1663
（近藤 静恵）



☆少人数のなごやかな会です。発足7年になります。
☆なみぬいか、かがりぬいができれば、作品が作れます。
☆たまだめができない時は、手伝います。

サポーター紹介！



(プロフィール)

法人：NPO 法人エシカファーム

職種：相談支援員

名前：大池留美

*特に児童・幼児が主です

今の私

- ・犬が大好き
- ・シャギリが大好き
- ・ワインが大好き
- ・夫婦でゴルフも大好き



運営会議のほうこく！

日時：平成 30 年 8 月 26 日（木）14：00～17：00 場所：三島市役所西館 2 階会議室

プロジェクトチームの進捗状況について

①相談&サビ管の連携プロジェクト

☆プロジェクト期間は終了しましたが、継続して『三島モデル（相談支援専門員・サービス管理責任者・サービス提供責任者・児童発達支援管理責任者）』の連携を目指します。

②アーチ通信プロジェクト

☆発行スケジュールについて話しあい、配信や構成は今後も事務局で対応することになりました。

☆サークル活動等の紹介を柳詰さんに進めてもらい、9月号は“いきいきクラブ”について掲載することになりました。

③人材育成プロジェクト

☆7/26(木)に開催されたワールドカフェの結果を基に、今後のプロジェクトの進め方、リストの活用を検討しました。

☆プロジェクト期間は終了しましたが、新メンバーを加え、継続して活動することになりました。(期間はH31/3/末まで)

☆写真付きの名簿を作成しました。パスワードロックし、対象者へメール配信することになりました。

地域生活支援拠点について

① “地域生活支援拠点ニーズ等整理表”を作成し、県に提出しました。

整理表をまとめたことで、既に取り組んでいること、取り組めていないところの整理ができ、次のプロジェクトにつなげる視点にもなりました。

その他

①橋本委員(三島市手をつなぐ育成会)から、手をつなぐ育成会会報「せせらぎ第 25 号」の案内がありました。

おしえて Q & A

プロジェクトってなに? その2 相談&サビ管連携プロジェクト

平成30年2月から7月までの期間で「相談&サビ管連携プロジェクト」を行いました。



プロジェクトで何をしましたの?

障害福祉サービスを利用する方には相談支援専門員がサービス等利用計画を作成し、各サービス提供事業所が個別支援計画を作成しています。それぞれの計画は連動している必要があるため、まず両者が連携して取り組める土台作りのために共通理解を得られるよう研修を企画しました。研修内容は、各計画の内容や連携の必要性についての講義を聞き、その後グループに分かれて意見交換を行いました。



平成30年6月23日(水)
相談&サビ管
連携プロジェクト研修実施

・相談支援事業所の方や支援員さんや他のサビ管の方々のお話を聞いてとても良かったです。

・連携があることによって、利用者に良いサービス提供ができると思った。

おしえてQ & A 今後の予定

第7号

★プロジェクトってなに?
その3 人材育成プロジェクト

第8号

★三島市災害対策ネットワーク委員会の紹介

*予定は変更されることもあります。ご承知願います。

これからも、多くのプロジェクトが構成され、メンバーとしてスタッフの派遣をご依頼させていただきます。ご協力いただけるよう、各事業者の皆様をお願いします!!

*より詳しい情報はホームページに掲載しましたのでご覧ください。
三島市障がいとくらしを支える協議会ホームページ

http://kir250520.kir.jp/netcommns/htdocs/?page_id=35

事務局連絡先：(福)見晴学園 相談支援事業所ふぁいん

055-976-8386

sole-fine@shirt.ocn.ne.jp